

償却資産申告書(償却資産課税台帳)の記入例

5.川西市内で事業を開始した年月を記入してください。

4.具体的に記入してください。

3.個人番号または法人番号を記入してください。

6.直接応答のできる方を記入してください

7.税理士等に委託されている場合には、記入してください。

8~14.該当するものに○を囲んでください。
※8~10で「有」に○をされている方には、別途書類を提出していただく場合があります。

1.住所または法人所在地を記入してください。また、ビル等に入居の場合、ビルの名称、階数及び部屋番号を記入してください。

2.法人名または個人名を記入してください。また、屋号があれば記入してください。

【前年前に取得したもの(イ)】
前年度申告された方は、同封の課税台帳の「取得価格」の額を記入してください。

【前年中に減少したもの(ロ)】
前年の1月2日~申告年度の1月1日までに減少した資産の価額を記入してください。

【前年中に取得したもの(ハ)】
前年の1月2日~申告年度の1月1日までに取得した資産の価額を記入してください。なお、前年度までに申告漏れになっていた資産についても、この欄に算入してください。はじめて申告される場合、全資産の額を記入してください。

【計{(イ)-(ロ)+(ハ)}(ニ)】
申告年度1月1日現在の全資産の取得価額を記入してください。

18.該当する項目にチェックを入れてください。
・新規事業者の方は「はじめて申告される方」の「該当の資産の有無(あり・なし)」に○
・前年度申告者の方は「前年度申告された方」の「前年中の資産の異動の有無(あり・なし)」に○
・廃業・解散された方は廃業年月日を記入

令和〇年〇月〇日 川西市長あて

3 個人番号又は法人番号 所有者コード

1 住所 〒666-0016 カワニシシチュウオウチュウ 川西市中央町12番1号 (電話 072-740-1111)

2 氏名 株式会社 川西食品 代表取締役 川西 太郎 (屋号 和菓子の能勢屋)

4 事業種目 和菓子製造小売業 (資本等の金額 10 百万円)

5 事業開始年月 昭和45年1月

6 この申告に回答する者の係及び氏名 川西 一郎 (TEL 072-740-1111)

7 税理士等の氏名 川西 二郎 (TEL 072-740-1133)

8 短縮耐用年数の承認 有 無

9 増加償却の届出 有 無

10 非課税該当資産 有 無

11 課税標準の特例 有 無

12 特別償却又は圧縮記帳 有 無

13 税務会計上の償却方法 定率法 定額法

14 青色申告 無

資産の種類	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計{(イ)-(ロ)+(ハ)}(ニ)
1 構築物	5,480,000	1,250,000	300,000	4,530,000
2 機械及び装置	4,130,000	0	1,500,000	5,630,000
3 船舶	0	0	0	0
4 航空機	0	0	0	0
5 車両及び運搬具	500,000	100,000	1,320,000	1,720,000
6 工具及び備品	1,700,000	0	380,000	2,080,000
7 合計	11,810,000	1,350,000	3,500,000	13,960,000

15 市内における事業所等の所在地
① 中央町12番1号(本店)
② 久代2丁目1番1号(久代店)

16 借用資産の有無 貸主の名称等
(有) 川西リース株式会社
川西市丸の内町6番1号 072-740-1334

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 借家

18 備考(添付書類等)
 はじめて申告される方
・・・該当の償却資産の有無(あり・なし)
 前年度申告された方
・・・前年中の資産の異動の有無(あり・なし)
 廃業(R) その他()

15.川西市内の事業所または資産の所在地を記入してください。(住所と同じでも必ず記入してください。)

16.リース資産がある場合には、貸主の住所・氏名・電話番号を記入してください。

17.自己所有または借家のどちらか該当するものを○で囲んでください。

種別別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

【資産の種類】

1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 航空機
5. 車両及び運搬具 6. 工具、器具及び備品
上記の分類に従い、数字で記入してください。(P.3参照)

【数量】

3桁以内で、右詰で記入してください。

【取得年月】

資産を取得した年月を記入してください。
年号は「1: 明治 2: 大正 3: 昭和 4: 平成 5: 令和」
を数字で記入してください。

【所有者名】

所有者名を記入してください。明細書のページ
数を記入してください。

所有者コード		種別別明細書 (増加資産・全資産用)										所有者名		第二十六号様式別表(提出用)	
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 番 号	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 格 (円)	増 加 事 由	耐 用 年 数	価 値 (円)	課 税 標 準 の 特 例 率 コ ー ド	課 税 標 準 額	摘 要	1 枚のうち 1 枚目
					年 号	年	月								
1	1		広告用看板	1	5	3	2	300 000	① 2 3・4	10					
2	2	※記入しないでください。	製氷機	1	5	3	4	1 500 000	① 2 3・4	6					
3	5		ハンドリフト	1	5	3	3	120 000	① 2 3・4	4					
4	5		フォークリフト	1	5	3	7	1 120 000	① 2 3・4	4					
5	6		クーラー	1	5	3	2	180 000	① 2 3・4	6					

【取得価額】

他から購入した資産については、その取得時に通常支出すべき金額(資産の取引運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費を含む。)により、また自己の建設・製作・製造等による資産については、そのための原材料費、労務費及び経費の額に附帯費の額を加えた金額を記入してください。なお、税務会計上認められている圧縮記帳は地方税法上認められていませんので圧縮前の取得価額を記入してください。また改良費の支出があった場合には、その金額を本体部に合算せず、別に記入してください。

【増加事由】

該当するものを○で囲んでください。
1. 新品資産の取得 2. 中古資産の取得
3. 社内移動等 4. その他

【耐用年数】

資産ごとの耐用年数を記入してください。
(P.9参照)

【摘要】

課税標準額の特例、非課税資産等がある場合には、摘要条項を記入してください。

別紙3

種類別明細書(減少資産用)の記入例

【資産の種類】

1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 航空機
5. 車両及び運搬具 6. 工具、器具及び備品
上記の分類に従い、数字で記入してください。(P.3参照)

【資産の名称等】

償却資産課税台帳等を参考に、
減少した資産番号を記入してください。

【数量】

3桁以内で、右詰で記入してください。

【所有者名】

所有者名を記入してください。明細書のページ
数を記入してください。

所有者コード		種類別明細書(減少資産用)										所有者名				
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 番 号	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 格	耐 用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分			摘 要		
					年 号	年	月				1 売 却	2 滅 失	3 移 動		4 其 他	1 全 部
1	1	351	ブロックベイ	1	3	51	11	800 000	15	52	1	②	3・4	①	2	
2	1	1026	カンパン	1	3	53	9	450 000	5	54	1	②	3・4	①	2	
3	5	1216	ハンドリフト	1	4	1	4	100 000	4	2	1	②	3・4	①	2	

株式会社 川西食品
1 枚のうち
1 枚目

【取得年月】

資産を取得した年月を記入してください。
年号は「1: 明治 2: 大正 3: 昭和 4: 平成 5: 令和」
を数字で記入してください。

【取得価格】

減少した資産の取得価格を記入してください。

【減少の事由及び区分】

該当するものを○で囲んでください。
1. 売却 2. 滅失
3. 移動 4. その他

【摘要】

・資産の一部を除却した場合(一部滅失)
減少の区分が「2 一部」の場合、減少した部分に対応する
数量・取得価額を具体的に記入してください。
・その他の事由で減少した場合
具体的な事由等を摘要欄に記入してください。